

ふるさと講座・自然系 + 歴史系

オジロワシ・オオワシ観察会と古代竪穴住居跡をめぐる！

オジロワシ・オオワシを主に観察しますが、春の渡りの季節で、たくさんの鳥たちが観察できるとても欲張りな観察会です。さらに、観察地に隣接する古代の竪穴住居跡（擦文文化期-約千年前）をめぐってみたいと思いますので、ぜひ、ご参加ください。

- 日 時 平成23年3月20日（日）
午前9時～12時
- 場 所 風蓮湖・走古丹方面
- 講 師 自然系－別海町郷土研究会
会長 渡辺 昇 氏
歴史系－別海町郷土資料館
主査 石渡 一人
- 集 合 郷土資料館へ9時までに集合
観察場所への移動は、当館で
送迎しますが、自家用車での
移動もできます。
- 定 員 15名（電話・FAX・メールのいずれかで、氏名・電話番号をご連絡ください。）
- 持 物 双眼鏡・図鑑（当館で若干貸出しします。）長靴を着用ください。



主催事業 加賀家文書歴史講座

「北海道の名付け親 松浦武四郎の資料を見よう！」

2月26日（土）に加賀家文書歴史講座を開催しました。今年度は、北海道の名付け親として有名な松浦武四郎について、加賀伝蔵との交流を中心に紹介しました。

当館には、松浦武四郎からの書簡、日誌、地図等の資料が所蔵されています。武四郎は、アイヌの保護を現地で働く伝蔵に切実にお願いしていることなどから、ふたりの交友関係は深い絆で結ばれていたことがわかりました。

また、展示、収蔵されている資料もまじかで見てもらいました。普段なかなか目にすることがないので、参加者は興味津々でした。



近世の別海を探る 「西別川河口から北」～その4～

ケネタイ

文献資料の標記は「ケネタイ」があります。

○地名の由来

☆〔ケネタイ〕

・「赤揚多き故に號く。(一里五丁五十間)等皆平地なり。従し是ノツケ〔野付〕を向かいに見る。」

『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』松浦武四郎

安政3年(1856)

ホンケ子ニタイ

文献資料の標記は「ホンケ子タエ」「ポンケ子タイ」「ホンケ子タイ」「ホンケネタイ」「ホンケ子ニタイ」「ポン ケネニタイ」があります。

○地名の由来

☆〔ホンケネタイ〕(松浦武四郎はケネタイと同じ意味で記述)

・「赤揚多き故に號く。(一里五丁五十間)等皆平地なり。従し是ノツケ〔野付〕を向かいに見る。」

『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』松浦武四郎 安政3年(1856)

☆〔ポン ケネニタイ〕

「小キ赤楊林」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)

○地勢・建物など

前期松前藩時代 18世紀後半

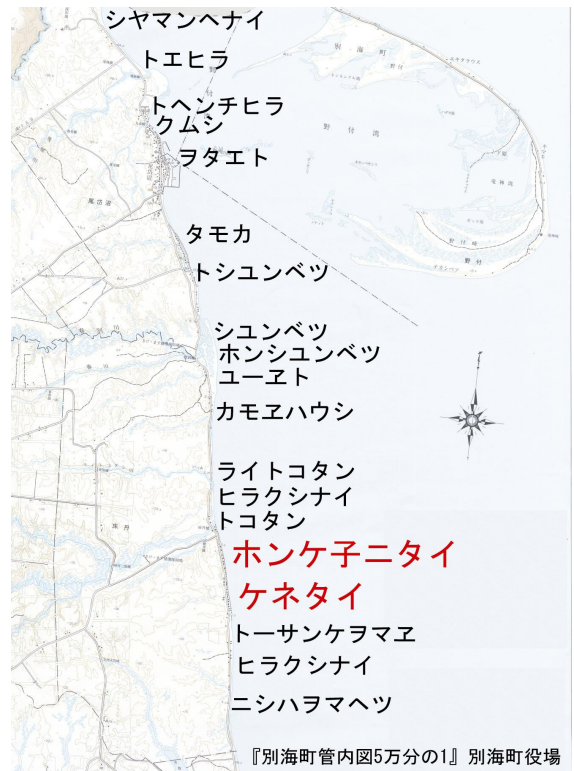
・「此処平山木アリ川アリ幅三四間砂濱行」

『松前地并東蝦夷地明細記』高橋壮四郎他 寛政9年(1797)

幕府再直轄時代 安政2年(1855)～慶応3年(1867)

・「但小川有」

『根室旧貫誌』喜多野省吾 安政5年(1858)



加賀家文書館からのお知らせ！

当館は、幕末の別海町や根室地方の様子が書かれた古文書資料を展示していますが、古文書に書かれているくずし字は誰でも読めるものではありません。

この度、活字訳した展示解説シートを設置しましたので、ご来館の方は是非活用いただき、幕末の様子を感じて頂きたいと思います。

別海町郷土資料館だより No.140

発行日 平成23年3月2日

発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

先月、野付半島ネイチャーセンター主催の風蓮湖の氷下待網漁とワシ観察会に参加してきました。天候も良く、風景もすばしかったです。漁業者の方に漁を見せていただいたのですが、本当に大変なことだと感じました。(K.I)